

WIN PROJECT WIN

令和元年度 学校地域WIN-WINプロジェクト 実践報告書



埼玉県マスコット
「コバトン」・「さいたまっち」

令和2年3月
埼玉県教育委員会

はじめに

近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちの成長を支えるには、学校と地域が連携・協働し、社会総がかりで教育を行う必要があります。

そこで、埼玉県教育委員会では、学校と地域との連携・協働による体験と実践を伴った学びの機会を設けるため、平成30年度から学校と地域がともにWIN-WINな関係となる取組を推進するため、「学校地域WIN-WINプロジェクト」を実施しています。

この事業は、地域にある多様な人的・物的資源（企業・NPO・市町村・地域人材など）を活用することにより、個々の教科などでの学びを深め広げるだけでなく、主体的に考え行動するとともに他者と連携・協働することなどを学び、地域が人を育て、人が地域を作る好循環を生み出すものです。

令和元年度は、実践研究校4校（浦和東高校・志木高校・皆野高校・塙保己一学園）を指定し、年間を通して地域との連携に取り組みました。また、学校と企業をマッチング・コーディネートして教育を実践したり、実践研究校の成果の普及と学校職員と企業等の交流の機会としてフォーラムを開催するなど、合わせて3つの取組を行いました。これらの取組により、生徒は、地域の良さや特徴、課題を知るとともに、多様な人々との関わりを通して、主体性や思考力を高め自己肯定感を得ることができました。教職員や地域の方々は、次代を支える子供たちが、高校でどのような力を身に付けるのか、大人たちがそれぞれの立場で何ができるのかなどについて、考える機会となりました。

本報告書では、実践研究校などの優れた取組事例を紹介しております。今後、多くの学校で継続的に実社会からの学びを充実できますよう、本報告書を御活用くださいますようお願いいたします。

結びに、「学校地域WIN-WINプロジェクト」の取組に御支援・御協力いただきました皆様、並びに本報告書の作成に当たり、実践事例の掲載に御協力いただきました皆様に、心からお礼を申し上げます。

埼玉県教育委員会教育長 小松 弥生

目次

1 学校地域WIN-WINプロジェクト

学校地域WIN-WINプロジェクト	1
-------------------	---

2 学校地域WIN-WINプロジェクト実践研究校の取組

●実践研究校の概要	4
埼玉県立浦和東高等学校	5
埼玉県立志木高等学校	9
埼玉県立皆野高等学校	13
埼玉県立特別支援学校塙保己一学園	17

3 フォーラムについて

フォーラムの日程	22
フォーラムの概要	23

4 教育プログラム

教育プログラム一覧	26
教育プログラム	27
令和元年度マッチング実績	38

5 地域課題探究型学習モデル校の取組

埼玉県立越生高等学校	40
埼玉県立北本高等学校	42

参考資料（フォーラム資料）

埼玉県立浦和東高等学校	48
埼玉県立志木高等学校	50
埼玉県立皆野高等学校	52
埼玉県立特別支援学校塙保己一学園	54
埼玉県立春日部女子高等学校	56

学校地域WIN-WINプロジェクト

WIN
PROJECT
WIN

概要

- 学校以外の人的・物的資源(企業、NPO、市町村、地域人材など)を活用した実社会からの学びを充実する(学校のWIN)
- 学校の力を地域で生かす取組を推進する(地域のWIN)

目的

- 子供たちがより良い社会と幸福な人生の創り手となる力を育む
- 「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」、「総合的な探究の時間」など、新学習指導要領への対応に備える



取組 1 教育局に窓口を設置し学校と地域をつなぐ

- ・年間を通して地域の力を教育活動に活用する取組や学校の力を地域に生かす取組の提案を学校から募集
- ・学校や地域のニーズに応じて、教育局職員が学校と地域の両者のマッチング・コーディネートを実施

取組 2 先行事例を打ち出し事業を牽引する

- ・令和元年度は、県立学校4校(浦和東高校、志木高校、皆野高校、塙保己一学園)を実践研究校として指定
- ・学校、地域、県が連携しながら、学校・地域両方がWIN-WINとなるモデルを打ち出す

取組 3 学校地域WIN-WINプロジェクトフォーラムを開催する

- ・実践研究校の生徒による研究発表
- ・学校職員と企業等との交流の機会を設ける

